



えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.10

令和元年 9月 30日

文責：校長 福島

通学合宿



昇町自治会が中心となって、4泊5日の通学合宿を行いました。

親元を離れ、5日間の子ども主体の生活です。延べ50人以上のボランティアの支えがあってできることですが、ボランティアの基本姿勢は「見守る」。ごはんづくりも布団敷きも洗濯もあくまで子供主体の活動です。

私もほぼ毎日子ども達の様子を見に行きました。初日には緊張気味でレクリエーションの輪の中に積極的に入っていけない子もいました。「16人の兄弟姉妹みたいになれるといいですね。」初日にそんな話をしました。

先週土曜日が最終日でした。「感謝の会」を子ども達が行ってくれました。ボランティアとしてかかわってくださった方への感謝の気持ちを伝える会です。すべて子ども達の企画です。子ども達は5日前とはずいぶん違った姿を見せてくれました。みんな下の名前で呼び合い、自信にあふれた表情でした。ゲームや歌、ダンス等「ありがとう」の気持ちがしっかりと伝わってくる会でした。思わず目頭が熱くなりました。16人の兄弟姉妹に近づけたことが分かりました。

こうして、日常生活が当たり前ではないと感じる機会はとても貴重なものだと感じます。家庭に帰った子ども達は、親のありがたさを感じたことでしょうか。テレビやゲームがなくても楽しい時間はできることがわかったことでしょうか。友達の存在を心強く感じたことでしょうか。支えてくれる大人がいることを改めて知ったと思います。

終わりの会では、スタッフの方の涙もありました。子どもの成長を目にすることができるって本当に素晴らしいことです。子どもは地域の宝です。宝の輝きを目指して熱い思いで活動する方がたくさんいる、こんなに心強いことはありません。

※ ホームページに様子を up しています。